

資料 2 「第九」 第4楽章の詩想と楽想の流れの照合

*第1区分(第1小節より第207小節まで)

第3楽章までの主題が現れては消える。そして「喜び」の主題の登場。

*第2区分(第208小節より第330小節まで)

バリトンのレチタティーヴォから始まって、シラーの詩、第1詩節、第2詩節、第3使節の8行部分が歌われる。最後は「天使ケルブは神の前に立っている (Der Cherub steht vor Gott, vor Gott, vor Gott)」が意味ありげに連呼される。

*第3区分(第331小節より第594小節まで)

第2区分から第3区分まで、フルトヴェングラー指揮の「第九」では、約5秒の間がある。

テノールによる独唱 (Froh, wie seine~) から、長いオーケストラ演奏があって、「喜び」の二度目の大合唱まで。

*第4区分(第595小節より第654小節まで)

ある「第九」解説書には、「荘厳な神殿の儀式」という表現がある。シラーの詩「歓喜に寄す」の第1詩節、第3詩節の4行部分が合唱される。具体的には、
Seid umschlungen, Millionen! Diesen kuss der ganzen Welt! Brüder, überm Sternenzelt muss ein lieber Vater wohnen. Ihr stürzt nieder, Millionen? Ahnest du den Schöpfer, Welt? Such, ihn überm Sternenzelt. Über Sternen muss er wohnen, (抱かれてあれ、幾百万の人々よ、全世界からのこのづけを受けてあれ、兄弟よ、あの星空の天涯のかなたに、慕わしい父さまはかならずおわします。跪いているか、幾百万の人々よ、あのアンテナで創造主を掴まえているか、世界よ。かの人を星空の彼方に訪ねよ。か人は必ず住みておわします。)

*第5区分(第655区分より第762小節まで)

いわゆるドッペルフーガといわれるところ。合唱グループが二手に分かれ、一方は、Freude schöner Götterfunken, Tochter aus Elysium. Wir betreten, feuertrunken, Himmlische, dein Heiligtum,そして他方は、Seid umschlungen, Millionen, Diesen Kuss der ganzen Welt を歌う。そのあと役割を変えて、同じフレーズが歌われる。

*第6区分(第763小節より第850小節まで)

ここでは4人のソリストたちのカデンツァが中心。歌われる内容は、「喜びの不思議な力」
Deine Zauber. カデンツァの部分は, alle Menschen werden Brüder, wo dein sanfter Flügel weilt.
(あなたの優しい翼が留まるところ、すべての人間は兄弟になる)

*第7区分(第851小節から第940小節まで)

すぐ上のフレーズを受けて、Seid umschlungen, Diesen Kuss der ganzen Welt が歌われ、思い入れ十分に連呼され、その後、Freude schöner Götterfunken, Götterfunken と歌い上げ、フィナーレになる。

このFinaleを、どう受け取るか、私はこの感動から、詩想・楽想の流れを推理する。